

事務事業名		道の駅「湧水の郷しおや」非常用放送設備スピーカー増設事業			<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	産業活性化に向けたまちづくり			所属課	産業振興課	担当	林務商工観光担当
	施策名	地域特性をいかした観光の推進			課長名	小野崎 保男	担当者名	手塚 正裕
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (	27 年度~	年度)
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 概要 道の駅「湧水の郷しおや」は、地域活性化施設として平成24年度にオープンし、今年度で3年目となっている。「道の駅」は、道路利用者の休憩・情報発信、そして地域の連携機能を併せ持つ拠点を目的としているが、次のステージとして「地域の拠点機能の強化」となることが求められている。当駅も、指定避難場所やヘリポート、蓄電設備など地域の防災拠点化がすすめられ、今年9月には町防災訓練が実施されたところである。このような中、当駅施設の「非常用放送設備」は交流館の単独機能となっており、非常時(火災等)の際に、農産物直売所内や駐車場、芝生広場の客を誘導させるのは困難な状況である。これらを改善するために、各所にスピーカーを増設し当駅施設内を網羅し、客の安全確保と防災拠点として強化を図るものである。</p> <p>2 概要事業費 工事請負費 1,600,000円</p>						

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) 施設内を網羅するスピーカーを設置	⇒	名称	単位
		ア 増設スピーカー	台
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) 道の駅施設利用者・従事者 避難場所指定区域住民(全地区)	⇒	名称	単位
		ア 道の駅全体の施設利用者(年間)	人
		イ 全住民	人
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載) 道の駅の施設利用者・従事者の非常時安全確保 ヘリポート使用時の施設利用者の安全誘導	⇒	名称	単位
		ア 道の駅全体の施設利用者(年間)	人
		イ ヘリポート使用回数(年間)	回

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 台	0	6				
		実績値 台						
イ		目標値 0						
		実績値 0						
対象指標	ア	目標値 人	357,000	357,000				
		実績値 人						
イ		目標値 人	12,880	12,820				
		実績値 人						
成果指標	ア	目標値 人	357,000	357,000				
		実績値 人						
イ		目標値 回	5	5				
		実績値 回						
ウ		目標値 0						
		実績値 0						

計画		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金 千円					
		県支出金 千円					
		地方債 千円					
		その他 千円					
		一般財源 千円		1,600			
	事業費計 (A) 千円		1,600	0	0	0	0
人件費		正規職員従事人数 人					
		延べ業務時間 時間					
		人件費計 (B) 千円	0	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B) 千円		1,600	0	0	0	0

実績		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金 千円					
		県支出金 千円					
		地方債 千円					
		その他 千円					
		一般財源 千円					
	事業費計 (A) 千円	0	0	0	0	0	0
人件費		正規職員従事人数 人					
		延べ業務時間 時間					
		人件費計 (B) 千円	0	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B) 千円	0	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	道の駅利用者の安全を確保するものであり道の駅の管理者である町が整備することが当然である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	道の駅利用者の安全管理は管理者(町)の責務であり早急な対応が必要。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	交流館施工会社に現場確認の上、見積徴収。 規模については、最小限の金額で効果が得られる規模を採用。(現状設備での状況確認済)	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	施設充実の為に実施されるものであり、受益者負担は発生しない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

### 3 事前評価結果

事前評価日： 平成 26 年 11 月 28 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 合理性、利便性を考慮し、適正な整備を検討すること	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

### 4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 一 年 一 月 一 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業